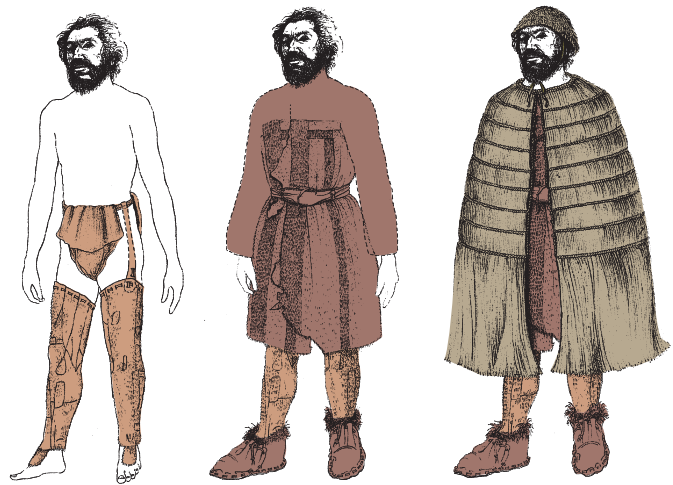


IV-5

どんな服を着ていたのだろうか？

原始時代の人々の服装というと、肌のみえるような簡単な服装であると考えられがちですが、現在より寒い氷河時代をその様な簡単な服装で乗り切れたのでしょうか。岩宿（旧石器）時代の服は、世界中をさがしても見つかっていません。しかし、シベリアで見つかったマンモスの牙で作った女性像にはフード付のコートを着たような表現のものがあります。現在残っている最古の衣服は、ヨーロッパ・アルプスで見つかった約5,000年前のミイラが着ていたもので、毛皮で作った衣服、草で編んだマント、底が革でできた靴を身につけていました。寒さに耐えられるようなしっかりとした服装であったことがわかります。



● アイスマンの衣服の復原図

（『日経サイエンス2003年8月号』をもとに作成）

アイスマンは皮や草、木の皮の繊維で作られた3層の服を重ね着していた。

● 毛皮の服

アイスマンを参考にして、鹿の皮を使って作られた衣服